

小学3年 国語「まいごのかぎ」

ねらい

- ・出来事や、登場人物の気持ちの変化をとらえることができる。
- ・会話文や様子を表す言葉から、登場人物の気持ちを想像することができる。
- ・自分で好きな場面を選び、理由をつけて伝えることができる。

学習展開（7時間）

- ① 学習のゴール「登場人物の変化をとらえる」「好きな場面を伝え合う」を知り、学習の見通しを持つ。
→「まいごのかぎ」の内容をつかみ、感想を持つ。
- ② 場面分けをし、できごと、気持ちを整理する。
- ③ 物語のはじめと終わりでの、登場人物の考え方や気持ちの変化を確かめる。（オクリンクプラスの活用）
- ④ 好きな場面を選び、心に残った所とそのわけを書く。
- ⑤ 好きな場面とわけを伝え合い、比べ合う。
- ⑥ ふしぎなことがおこる物語を読み、場面や登場人物の気持ちの変化をとらえる。
- ⑦ 読んだ物語について、好きな場面とわけを伝え合い、友達と比べ合う。



好きな場面とわけを伝え合う児童たち

指導のポイント

- ・「まいごのかぎ」で、好きな場面を選んだりわけを伝え合ったりする学習を行い、それを生かして選んだ本の紹介ができるようにした。
- ・メモをもとに、自分の言葉で伝えたり、質問し合ったりするよう指導した。
- ・一人ひとり違う本が選べるよう準備し、いろいろな「ふしぎ」について交流できるようにした。

学校図書館との関わり

- ・学校司書が、ふしぎなことがおこる物語の本を準備し、児童がいくつもの本を読み比べできるようにした。
- ・ふしぎなことがおこる物語について、司書がミニブックトークをして、児童の関心を高めた。